

FESAN×岩手県立大学×JA全農いわて 学生考案の 原木乾しいたけメニューを提供



関係者による原木乾しいたけ試食会の様子

岩手県の農業を盛り上げようと、岩手県立大学の学生が考案した県産乾しいたけを使用した料理が「みのもるダイニング」にて1月16日（土）～2月28日（日）にかけて提供されます。

提供に先がけ、1月13日（水）、盛岡駅ビルフェザン「みのもるダイニング」にて試食会が行われました。この取り組みは、東日本1位の生産量を誇る県産乾しいたけの魅力を発信しようと、全農いわて、盛岡駅ビルフェザン、岩手県立大学が企画をしました。若い人たちにも地元の乾しいたけの美味しさを知ってもらおうと、食物栄養学を学ぶ学生が考案した3つのメニューが1月16日から1品ずつ期間限定で提供されます。

当日は岩手県立大学総合政策学部高嶋裕一教授、盛岡ターミナルビル(株)和田俊文社長、全農いわて高橋司副本部長、岩手県農協乾椎茸連絡協議会佐々木久助会長、レシピを考案した学生など関係者が集まり試食会が開かれました。全農いわて高橋副本部長は「岩手の乾しいたけは気温が低いのでゆっくり育つことから、かっちりとした歯ごたえになります。日本全国でも岩手の乾しいたけは非常に評価が高い」と話しました。



提供される3つのメニューは、「原木乾しいたけの肉詰め」（税別590円、提供期間1月16日～31日）「原木乾しいたけ入りグラタン」（税別690円、提供期間2月1日～15日）「原木乾しいたけ入りハンバーグ」（税別690円、提供期間2月17日～28日）。

岩手県立大学 × フェザン × 全農いわて



岩手県立大学総合政策学部の学生チームが原木乾しいたけの消費拡大をテーマに企画し、同大学盛岡短期大学部生活科学科食物栄養学専攻の学生が考案したレシピをもとにメニュー化したものです。岩手県産原木乾しいたけをふんだんに使用したアイデアメニューをぜひお召し上がりください。



原木乾しいたけの
肉詰め 590円(税別)

期間 1/16日～31日
考案者 小野寺 紗雪



原木乾しいたけ入り
グラタン 690円(税別)

期間 2/1日～15日
考案者 坂本 彩乃



原木乾しいたけ入り
ハンバーグ 690円(税別)

期間 2/16日～28日
考案者 平内 風伽



JA全農いわて「純情ほしいたけの部屋」 Instagram
乾しいたけレシピを発信していきます！「フォロー」「いいね」お待ちしております！

肉詰めのレシピを考案した、岩手県立大学盛岡短期大学部食物栄養学専攻の小野寺紗雪さんは「口の中でのしいたけのうまみが広がるよう、しいたけを切らずに使いました。岩手のしいたけのおいしさを知ってもらいたい」グラタンのレシピを考案した同大学の坂本彩乃さんは「和食で使うイメージが強いしいたけを洋食にアレンジしました。うま味を多くの人に知ってもらいたい」と話しました。

全農いわては引き続き盛岡駅ビルフェザンと岩手県立大学と協働し乾しいたけの魅力を発信していきます。



● “美味しい”をパワーへ変えて!

令和2年12月26日(土)～12月28日(月)

第44回 JA全農いわて いわて純情米選手権 岩手県ミニバスケットボール交歓大会

JA全農いわてが特別協賛する「第44回JA全農いわていわて純情米選手権岩手県ミニバスケットボール交歓大会」が、花巻市にて3日間にわたり開催されました。男子の部・女子の部でそれぞれ32チームが参加し、優勝を目指して白熱した試合展開を見せました。

激闘の末、男子の部では「岩谷堂ミニバスケットボールスポーツ少年団」、女子の部では「黒東ミニバスケットボールスポーツ少年団」が優勝。1位～3位のチームには、副賞として本会より「ひとめぼれ」合計280kgを贈呈しました。優勝した2チームは、3月28日(木)～31日(土)に東京都で開催される「第52回全国ミニバスケットボール大会」へ出場します。

■男子

優勝	岩谷堂(奥州)
準優勝	八幡(花巻紫波)
第3位	桜台(花巻紫波)
第3位	まえさわ(奥州)

■女子

優勝	黒東(北上)
準優勝	中里きらり(一関)
第3位	一関(一関)
第3位	まえさわ(奥州)



チームで力を合わせます



米穀部松田部長より賞状が送られました

● 想いをつなげて!

令和3年1月9日(土)～10日(日)男子の部、男女混合の部

令和3年1月16日(土)～17日(日)女子の部

いわて純情りんご杯

第37回岩手県小学生バレーボール育成大会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が延期されていた、「JA全農いわて純情りんご杯第37回岩手県小学生バレーボール育成大会」が、陸前高田市総合交流センター(メイン会場)、住田町社会体育館、胆沢総合体育館にて4日間にわたり開催されました。男子21チーム、女子48チーム、男女混合11チームの計80チームが参加をしました。参加人数を制限するなど感染対策を強化しての試合となりましたが、子どもたちは元気にボールを追っていました。JA全農いわてからは、参加賞として純情りんご10kgや純情もちが贈られました。

■男子

優勝	奥州江刺JVC(奥州市)
準優勝	金ヶ崎VBC(金ヶ崎町)
第3位	山岸ジュニアバレーボールクラブ(盛岡市)
第3位	花巻バレーボールスポーツ少年団(花巻市)

■女子

優勝	軽米VBSS(軽米町)
準優勝	一関V・厳美クラブJr(一関市)
第3位	奥州胆沢バレーボールクラブ(奥州市)
第3位	大新バレーボールクラブ(盛岡市)

■混合

優勝	滝沢VBS(一関市)
準優勝	大迫バレーボールスポーツ少年団(花巻市)
第3位	藤沢クラブJr(一関市)
第3位	古館バレーボールスポーツ少年団(紫波町)



高く飛んでアタック



優勝を目指して想いを繋げます

● 1年間の好取引を祈願

令和3年1月6日(水)～7日(木)県南家畜市場

令和3年1月13日(水)～15(金)中央家畜市場

中央家畜市場初市式を開催

県南家畜市場、中央家畜市場にて、和牛子牛の初競りが開催されました。初競りに先立ち「初市式」が開催され、1年間の好取引を祈願しました。

14日(中央家畜市場初競り2日目)に行われた初市式では、高橋司副本部長が主催者挨拶を述べ、JA関係者、猿子恵久雫石町長、泉裕之盛岡広域振興局長らと共に鏡開きを行いました。当日はJA新いわて管内から雌牛119頭、去勢牛210頭、計329頭の上場があり、最高値は雌850,300円、去勢1,098,900円。平均取引価格は716,668円となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いており、インバウンドが中々期待できない状況ですが、小中学校の学校給食などで消費拡大を進めていきます。

令和3年もJA全農いわて『中央家畜市場・県南家畜市場』を宜しくお願い致します!



鏡開きで2021年の幕開けを祝福



主催者挨拶を述べる高橋副本部長

● 小中学生を対象に県産牛肉の理解醸成を図る

『いわて牛』食育動画を作成

JA全農いわてでは、国の国産農林水産物等販売促進緊急対策事業を活用し、学校給食における県産牛肉の提供を実施し消費拡大を推進しています。今回、牛肉の提供とあわせて県産牛肉に関する理解醸成をはかることと、地産地消について学んでもらうために小学校高学年以上を対象とした食育動画を作成し、DVDにして県内小中学校へ配布しました。当初学校を巡回しての出前授業を実施することを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、多くの児童・生徒に情報を発信することを目的として、動画の作成を決めました。動画制作を担当した畜産販売課の担当者は『岩手県にも全国に誇れるおいしい牛肉があること、そこには生産者や流通関係者の情熱と努力があることなどを知るキッカケになればありがたい』と話します。本動画はいわて牛普及推進協議会HPやJA全農いわてHPでも閲覧することができます。



「純情産地いわて」

そこでは、純な自然の力と人々の情が通い合い、純情な農畜産物がすくすくと育っている。そんな「純情産地いわて」を支える、各事業部の取り組みをご紹介します。



INTRODUCTION

総合エネルギー部(石油)



東北エネルギー事業所岩手推進課の取り組み(石油)

1.はじめに

東北エネルギー事業所岩手推進課は、地域のエネルギー供給責任を果たすべく石油・ガス事業の供給体制の維持・強化に加え、電力事業の拡大やホームエネルギー事業の展開を実践してまいります。また、石油事業に関しては集約再編や既存SSのリニューアル等により販売力を強化するとともに、免税軽油利用等のお客様が利用しやすい環境整備にも努めています。



3.お客様満足度向上に向けて

県内のJA-SSでは、お客様満足度向上に向け毎年キャンペーン応募の際にお客様からのアンケート調査を実施しております。今年も7～8月に開催した「夏のキャンペーン」にてアンケート調査を実施し、例年より短い期間でしたが約7,800名のお客様から回答をいただきました。

(1) 実施機関

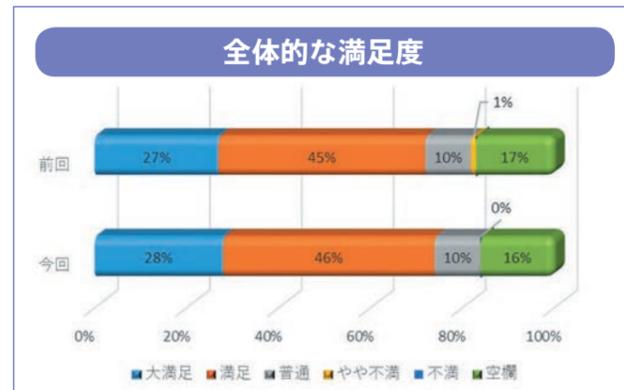
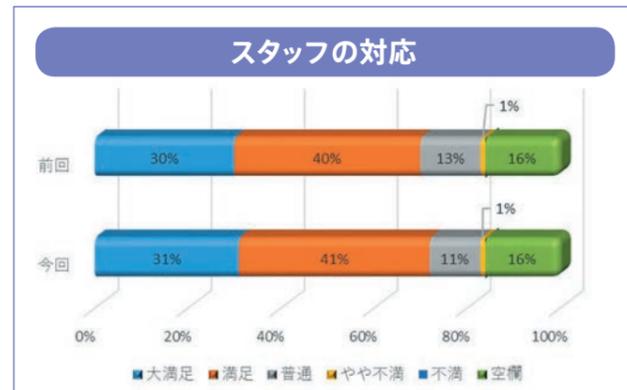
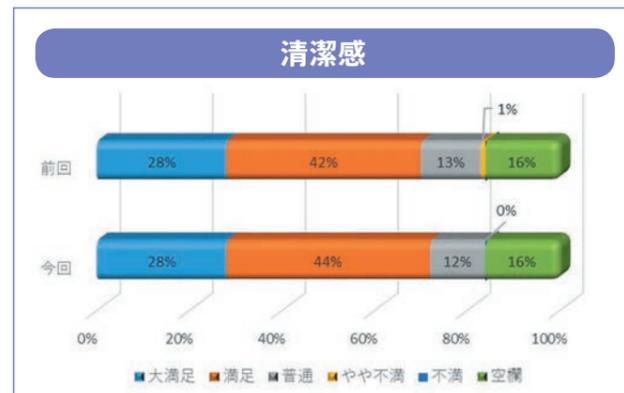
●前回 2019年6月1日～8月30日 ●今回 2020年7月1日～8月30日

(2) アンケート対象SS

岩手県内 43SS
(内、セルフ21SS、フル22SS)

(3) アンケート結果

昨年と比較すると全てのカテゴリで満足度が向上している結果となりました。店舗全体の清潔感や分かり易い案内表示、スタッフの明るい対応、定期的な設備の消毒等が向上のポイントとなっております。しかし、一部店舗において休憩室やトイレなど室内が汚れているというご指摘もありましたので今後の改善に努めてまいります。



4.おわりに

JA全農は、各JA・会社と共に地域に合った取組みを展開し、お客様満足度向上に向けた施策を今後も行っていきます。また、いわてJA-SSチェーンの活動理念である「安心・安全・満足」をお客様に提供し地域の皆様に愛されるSSづくりを進めてまいります。

2. 免税軽油制度について

普段使用している軽油には1リットルにつき32.1円の軽油引取税(地方税)が含まれています。この軽油引取税が一定の要件をもとに免除される軽油のことを免税軽油といいます。対象となる軽油は、農作業において農業用機械に使用する軽油が対象となります。(耕うん整地用機械、栽培用機械、収穫調整用機械、植物繊維用機械、畜産用機械など)

この制度が対象となる使用者は、ご自身で農業を営む方はもちろんのこと、農作業受託で基幹的な作業のすべてを受けて行う方が対象となります。

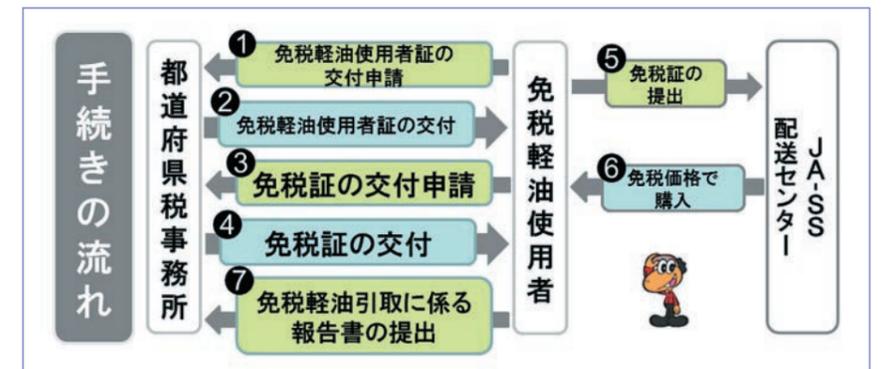
免税証を発行しJA-SSまたは燃料配送センターにて農業用機械に使用する軽油をお買い上げの際にご提示いただければ免税価格にて購入が可能となります。

免税軽油

はじめませんか? 軽油引取税が **32.1円/ℓ** 免税されます。

免税軽油とは
農業用の機械等に使用する軽油は、免税証の交付などの手続きを受けることで、軽油引取税が免税になります。(1リットル当たり32.1円)
農業を営む者(農作業のうち基幹的な作業(専ら機械を使用して行われるもの)のすべての委託を受けて農作業を行う者を含む)が使用する耕うん整地用機械、栽培管理用機械、収穫調整用機械、植物繊維用機械及び畜産用機械の動力源に使用する軽油に適用されます。

お近くのJA-SSへ





米穀部
米穀推進センター
菊池 満

令和2年産米 検査概況について

みんなの分教場



農林水産省は、12月9日に令和2年産水陸稲の収穫量を公表し、全国の主食用作付面積136.6万ha、10a当たり収量は531kg(1.70mmふるい目幅ベース)となり、主食用米収量は722.5万トンが見込まれ、作況指数99「平年並み」となると見込みであると発表しました。

北海道、東北及び北陸は全もみ数が確保され登熟も順調に推移したことにより、作柄は平年以上となり、東海以西ではトビイロウンカ被害及び日照不足などの影響による登熟不良で作柄が平年を下回りました。

東北では作況指数104「やや良」が見込まれ、岩手県も作況指数103「やや良」の見込みです。(表1参照)

ここで令和2年産米の農産物検査について報告します。

農産物検査の概況(令和2年11月30日現在)ですが、全国の水稲うるち玄米は404万トンが検査され、1等比率が80.3%と前年同期の73.1%より7.2ポイント高いものとなっています。

2等以下に格付けされた主な理由は、形質(心白・腹白等)が48.8%(前年58.2%)、着色粒26.2%(前年20.0%)、整粒不足18.0%(前年16.0%)となっています。

一方、岩手県内の農産物検査概況ですが、初検査は水稲もち玄米は9月15日(昨年より3日遅い)、水稲うるち玄米は9月23日(昨年より3日遅い)となりました。

検査概況ですが、県内の水稲うるち玄米は14.6万トンが検査され、1等比率が94.3%と前年同期の93.2%より

■表1 作況指数(H28~R2)

	全国	地域別											
		東北	岩手	青森	秋田	宮城	山形	福島	北海道	北陸	関東	近畿	九州
2年	99	104	103	105	105	102	104	102	106	102	101	96	85
元年	99	104	103	106	104	102	105	102	104	101	97	99	86
30年	98	99	101	101	96	101	96	101	90	98	100	98	102
29年	100	99	98	101	99	99	100	100	103	98	99	100	101
28年	103	103	102	104	104	105	103	102	102	107	101	102	101

(農林水産省公表資料)

■表2 2年産水稲うるち玄米の等級比率(11月末日現在)

地域別	検査数量(トン)	等級比率(%)			
		1等	2等	3等	規格外
全国	4,044,475	80.3	16.6	2.1	1.0
東北	1,366,860	92.0	6.9	0.6	0.5
全国1位・山形	239,260	94.5	4.8	0.3	0.4
全国2位・岩手	146,344	94.3	5.2	0.3	0.2
全国3位・長野	81,554	94.2	5.0	0.7	0.1
(参考) 福岡(最下位)	47,434	10.1	76.5	8.1	5.3

(農林水産省公表資料)

■表3 2年産米銘柄別検査数量及び1等比率(岩手県産11月末日現在)

種類	銘柄	検査数量(トン)	2年産米1等比率	元年産米1等比率	30年産米1等比率
水稲うるち玄米	ひとめぼれ	101,745	93.4%	92.5%	97.9%
	あきたこまち	22,329	95.9%	96.5%	98.9%
	いわてっこ	5,836	95.8%	93.9%	98.1%
	金色の風	1,152	98.3%	98.1%	99.9%
	銀河のしずく	7,302	99.8%	98.3%	99.4%

(農林水産省公表資料)

1.1ポイント高いものとなっています。また、2等以下に各付けされた主な格付け理由は、形質(心白・腹白、その他)6.0%、着色粒84.7%、被害粒4.7%となつています。(表2・表3参照)

品質については、各地域ともに田植え以降、好天に恵まれ生育が順調に推移したものの、7月に長雨・日照不足となり中干が十分行えないほ場も多く見られました。8月以降、高温多湿で推移したことから登熟が急速に進み稲刈盛期は平年に比べ1日程度早くなりました。

このように概ね好天に恵まれ、未熟粒(青未熟粒・白未熟粒)の発生が少なく充実が良いものの、平年よりカメ虫や粉割れによる部分着色粒やいもち病による被害粒(死米や茶米)の発生が多く2等以下への落等がみられます。

最後に、JA登録検査機関では、美味しい「いわて純情米」を消費者の皆様へ届けするため、今後とも適正かつ公正な農産物検査を推進してまいります。

以上で令和2年産米検査の報告とします。



工房めぐ海とJAグループ商談会の出展打合せ

白井代表理事へ定期的に情報提供

生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY! 営農支援 レポート



TACとして 担い手農家のお役に立ちたい!



営農支援部
菊池 規

今回ご紹介するのは、JAおおふなどTAC活動をしている中村明子さんです。中村さんは、平成29年度に営農部営農企画課に配属、県内JAで初めての「女性専任TAC」となりました。

TACとなった中村さんが最初に始めたことは、担い手農家の経営規模や販売金額、資材購入の履歴等を整理し現状を把握することでした。担い手農家を訪問していると、現役で働いている方は60〜70代の高齢者が多く「担い手不足・労働力不足」の深刻さを痛感したとのこと。

JAおおふなどは、昨年度から「農家手取り最大化プロジェクト」に参画し、中村さんはモデル経営体である「農事組合法人広田半島」の担当窓口となり、主に3つの課題解決に取り組ましました。

課題1 反収アップに向けた土壌診断

水稲圃場が地力のない被災復旧田のため、まずは土壌診断を行いました。診断結果を基に「けい酸質肥料シリカ未来」の投入と、追肥作業を軽減するため基肥一発型肥料を導入し、農作業軽減と反収アップを図りました。

課題2 圃場管理の仕組みづくり

圃場が5地区に分かれ、それぞれの担当者の管理方法に差が出たり、記入漏れがあるためZIGIS(全農営農管理システム)を導入しました。現場の圃場でスマホやタブレットにデータを入力し、電子地図と圃場ごとの営農情報を紐づけて管理・視覚化する環境を整えました。

課題3 6次産業化商品の販路拡大

広田半島営農組合の「工房めぐ海」がつくる人気商品「おやき」「がんづき」等をJAグループ国産農畜産物商談会に出品するとともに、販売価格の見直しや食品表示法改正に対応した食品表示の見直しを図りました。

このように、一緒に悩み課題解決に取り組む中村さんの姿勢は、モデル経営体から感謝されています。また、この取り組みが評価され、「TACパワーアップ大会2020」において、全国で9人しか選ばれない「TAC表彰」を受賞しました。

TACとして

の自覚に加えて、女性の視点からも細やかなサポートができる中村さんを、本会としても引き続きバックアップして参ります。



広田半島営農組合 工房めぐ海の加工品

TACの声

JAおおふなど 営農企画課 調査役
中村 明子さん

この度、TAC表彰を受賞できたのは、私個人の力ではなく、担い手農家・JA全農いわて・JAおおふなど営農部をはじめ連携部署の皆様のおかげと実感しております。今後は営農改善に必要な情報を補い合える関係をつくるため、ネットワークを築き、地域全体の農業を良い方向に持っていきたいと思っております。



担い手農家の声

農事組合法人広田半島 代表理事
白井 剛さん

JAには東日本大震災から色々と支援を頂き感謝しています。当法人としても水田の雑草対策や高齢化による作業の効率化等様々な課題を抱えており、農家手取り最大化プロジェクトの取り組みを通してひとつずつ解決していきたい。TACの中村さんにはこれからも課題解決に向けご指導をお願いします。





レットライ クッキング!

Let's try cooking

orders
20

料理監修/高橋ヒサ子
管理栄養士・いわて糖尿病療養指導士

いつもの揚げ出し豆腐も

“椎茸あん”でスペシャル感!

♥材料(2人分)

- 生しいたけ…4個
- にんじん…適量
- せり…適量
- ゆず(絞り汁、皮)…適量
- 木綿豆腐…1丁
- 片栗粉…適量
- 揚げ油…適量
- 調味液(めんつゆ…大さじ1、だし汁…100cc、塩、ゆずの絞り汁、片栗粉…各少々)

♥作り方

- ① 豆腐を水切りする(豆腐をキッチンペーパーでくるみ、電子レンジに入れる。600Wで3分間)。
- ② 水切りの豆腐を好みの大きさに切り、片栗粉をまぶして油で揚げておく。
- ③ しいたけ、にんじんは好みの大きさに切り、せりは4cm長さに切っておく。
- ④ あんを作る(めんつゆ、だし汁、塩を鍋に入れて煮立て、しいたけ、にんじんを入れて煮たら、火を止める寸前にゆずの絞り汁とせりを加え、最後に水溶きした片栗粉を回し入れる)。
- ⑤ 器に②を盛って、その上に④のあんをかけ、最後にゆずの皮を飾りのせる。



<https://www.ja-town.com/shop/c/c2101/>

いわて純情館



JAタウン
「いわて純情館」はこちら

気仙小枝柿フードパックセット (約170g×6) ¥4,100(税込)

岩手県、気仙地方に伝わる伝統の「ころ柿」

「小枝柿」は岩手県気仙地方(大船渡市、陸前高田市、住田町)で古くから栽培されている柿。小枝柿の特徴は何と言っても「種がない」こと。

不思議なことに、気仙地方以外で栽培すると種ができてしまうという伝承があります。

そんな「小枝柿」を使った干し柿「ころ柿」は身質がかたく、上品な甘さが特長です。

(稀に、種のある柿もございます。)

気仙小枝柿は、乾燥、柿もみ、整形などの細やかな手作業を繰り返し、甘くて美しい干し柿となります。



小枝柿ができるまで

1. 栽培

小枝柿は年間を通して、栽培管理が行われています。1～3月には剪定、4～10月にかけて、摘果・防除・施肥などが行われます。また、夏の時期に乾燥が続くと、果実が大きくなれないなどの影響がでるため、かん水も行われます。

2. 収穫

11月初めころから、ほどよく色づいた柿を収穫します。この時果実にキズをつけてしまうと、そこから傷んでしまうため、一つ一つ手作業で大切に収穫します。

3. 加工

小枝柿を収穫後、追熟を行います。この作業を行うと果実の赤みが増し、糖度も高くなるのでおいしい干し柿となります。追熟後、皮むき・燻蒸・一次乾燥を行います。全ての作業で約一か月程度の時間がかかります。

4. 仕上げ

一次乾燥終了後は、お椀型に形を整える整形を行い、二次乾燥である粉だし作業にかかります。粉だし作業は、整形した柿をセイロに並べ、寒風にさらし、表面の糖分を結晶化させ、柿を白化粧させます。また気仙小枝柿は、柿のへたを取り、食べやすくしております。

純情産地 いわて

純情産地いわてへの愛、あなたの笑顔で咲かせてみませんか



photo: 2019いわて純情むすめ

2021 いわて 純情むすめ 募集

集まれ! 純情又マイン!

2021いわて純情むすめ募集要項

【応募資格】

- ①2021年4月1日現在で高校卒業見込みであり、満18歳以上25歳以下の健康で明るい未婚女性。※未成年者は保護者の同意を必要とします。
- ②岩手県在住者で、自薦他薦は問いません。
- ③業務委託する1年間を通して、県内外で開催するイベント・販売促進活動・メディア出演・テレビ番組出演等各種行事のほか、研修等に曜日を問わず参加・協力できる方。※県外での活動については、本人の同意を得られた場合のみ参加いただけます。
- ④最終選考および事前研修、認定式へ参加できる方。

【応募方法】

JA全農いわてホームページ内の応募フォームからご応募できます。
 必要事項①身長 ②志望の動機 ③趣味・特技 ④今まで行ったクラブ活動 ⑤自己PR
 ⑥いわて純情むすめや岩手県産農畜産物へのイメージ、いわて純情むすめになってやってみたいこと⑦応募を知った広告媒体を必ずご記入の上、
 3か月以内に撮影した鮮明で加工されていないカラー写真(正面向き)の全身写真・顔写真(顔のほりり分かるもの)をそれぞれ1枚ずつを添付ください。

【応募締切】 2021年3月1日(月) 23:59まで
 【募集人員】 5名(予定)

【応募方法】

JA全農いわてホームページ内「2021いわて純情むすめ」応募フォーム からご応募ください
 応募フォーム <https://junjomusume.com/2021/>

JA全農いわて 検索

※お申付た個人情報等は全て適切に管理し、業務目的でのみ使用いたします。審査以外に開示することとはございません。採用後以外の個人情報については個人情報保護法における個人情報データベース等規定の範囲内において開示いたしません。

【賞品】

- ①第1次選考通過者(最終選考出席者) JCBギフト券
- ②採用決定者 / 正賞 認定証(記念盾)
- 副賞 国内外共通旅行券(10万円相当)・いわて純情ギフト

【審査方法】

- ①第1次選考 書類審査により20名程度を選考。結果は書面にて通知いたします。
- ②最終選考 面接審査(私服着用)により選考。2021年3月12日(金)予定
- ③事前研修 2021年4月20日(火)・21日(水)予定
- ④認定式 2021年4月28日(水)予定
- ※原則、上記日程に参加できる方
- ※選考方法は変更となる場合があります

【活動期間】

2021年4月(準備期間) 2021年5月1日~2022年6月末日

【日当】

当会規定に基づき、業務の日当および交通費・宿泊費を支給いたします。

純情むすめの活動はSNSで配信!

情報配信中
 主な活動実績なども
 ご覧いただけます



JA全農いわて

お問合せ先

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号サンビル4F

JA全農いわて 管理部 総合企画課「2021いわて純情むすめ」募集係

TEL.019-626-8615

受付時間 9:00~17:00まで (土・日・祝日を除く)

全農

編集後記

年があけて、あつという間の2月になりました。2月といえば、節分。節分は季節を分けるという意味もあるそうです。2021年節分の恵方は、南南東です。もくもくと恵方巻きを食べたいと思います。(星)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に書かれている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
 ■営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
 ■安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
 ■地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
 JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

